

## 心理職で初めての国家資格



福祉心理コースは国家資格「公認心理師」の受験資格に対応  
心理学の専門知識とスキルを着実に学びます

### 公認心理師とは

「公認心理師」とは、心理学への専門的知識やスキルを持つことを証明する国家資格です。保健センターや保健所、病院、福祉施設、学校等の教育機関、企業等の場所で、他の専門家と協力しながら、心理的な支援が必要な方の現状を把握したり、相談を行ったりします。また、地域の人々に心の健康について学んでもらう機会を提供することも大事な活動のひとつです。「公認心理師」は心理学関連のはじめての国家資格であり、国民の心の健康の保持増進に寄与するために、以下のような専門的な仕事を担います。

- ① 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- ② 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- ③ 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- ④ 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

#### 活躍の場

##### 保健・医療領域

病院・診療所(精神科、小児科、相談部門など)、保健所、精神保健福祉センター  
医療チームの一員として、患者さんに対する心理的支援や心の健康教育を担当します。

##### 福祉領域

児童福祉施設、児童相談所 障害者福祉施設 高齢者福祉施設、相談援助機関  
児童福祉施設や児童相談所などで、子どもや家族の問題(例えば、虐待や発達障害)に対して心理的な支援をします。

##### 教育領域

学校、教育センター  
スクールカウンセラーとして、幼児児童生徒、保護者および教職員に対する相談・援助等を担当します。

##### 司法・法務領域

刑務所、拘留所、鑑別所、少年院 家庭裁判所、警察  
犯罪や非行をした者について、犯罪や非行に至る原因や心理の分析や心理的な面からの支援を担当します。また、犯罪の被害者の心のケアを担当します。

##### 産業・労働領域

企業でのメンタルヘルス 外部従業員支援プログラム  
働く人のメンタルヘルス対策として、うつ病や心身症になるのを予防したり、心理的な支援をします。



様々な「心の問題」が増え、社会問題となっている現代、  
鬱や引きこもり、いじめや不登校など  
こういった心理的問題を支援する専門職が必要とされています

## 資格の取得方法

資格取得には、4年制大学において文部科学省・厚生労働省令(以下、省令)に定められた科目の単位を修得し、卒業後、大学院において省令で定める科目を修め、修了するか、省令で定める施設において2年以上の実務経験(※)を積むことで国家試験の受験資格が得られます。

※「実務経験」は、該当する施設に勤務しているだけではなく、文部科学省・厚生労働省が認めるプログラムを受け、公認心理師法に基づく大学院と同等以上の専門的な知識および技能を修得できることが前提です。

### 福祉心理コースで「公認心理師」に必要な科目を履修

- 公認心理師の職責
- 心理学概論
- 臨床心理学概論
- 心理学研究法
- 心理学統計法
- 心理学実験
- 知覚・認知心理学
- 学習・言語心理学
- 感情・人格心理学
- 神経・生理心理学
- 社会・集団・家族心理学
- 発達心理学
- 障害者・障害児心理学
- 心理的アセスメント
- 心理学的支援法
- 健康・医療心理学
- 福祉心理学
- 教育・学校心理学
- 司法・犯罪心理学
- 産業・組織心理学
- 人体の構造と機能及び疾病
- 精神疾患とその治療
- 関係行政論
- 心理演習
- 心理実習(80時間以上)

## 群馬医療福祉大学「福祉心理コース」を卒業 卒業後は資格取得のための2通りの選択肢があります

### 1 大学院で下記の所定の科目を修得し、課程を修了

- 保健医療分野に関する理論と支援の展開
- 福祉分野に関する理論と支援の展開
- 教育分野に関する理論と支援の展開
- 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
- 産業・労働分野に関する理論と支援の展開
- 心理的アセスメントに関する理論と実践
- 心理支援に関する理論と実践
- 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
- 心の健康教育に関する理論と実践
- 心理実践実習(450時間以上)

または

### 2 所定の研修プログラム等を整備した病院・施設・機関等での実務経験(2~3年程度)

修了後

公認心理師試験の受験